



おめでとうございます 百歳を迎えたました

町では、満百歳を迎えた方をお祝いする長寿表彰を行っています。

このたび、勝原道恵さん(麻生)が11月29日に満百歳を迎えた、町長から寿詞などが贈呈されました。
これからもお元気にお過ごしください。



町合併20周年記念宝くじ文化講演会開催

八頭町合併20周年を記念した宝くじ文化講演会が、11月23日(日・祝)、八東体育文化センターで開催されました。

当日は俳優の紺野美沙子さんを迎えて「星は見ている／原爆でわが子を亡くした父の手記より」と題した講演と朗読が行われました。

講演では、紺野さんが1998年から国連開発計画(UNDP)親善大使に任命され、27年にわたり国際協力の分野で活動してきた経験を基に、訪問先の国々が今なお紛争に巻き込まれている現状や、かけがえのない命が失われていること、そして平和の大切さについて語りました。来場者は一つひとつ言葉に熱心に耳を傾けていました。



国連開発計画(UNDP)親善大使として訪問した
国を話す紺野美沙子さん

また、紺野さんが「多くの人に届けたい」と話す作品「星は見ている」の朗読は、オリジナル映像とともにに行われ、戦争の理不尽さや平和への思いを改めて深める時間となりました。

深めました。

参加した地域の方からは「中学生と話す機会が新鮮だった」「多様な考え方触れられた」との声が聞かれ、中学生も「違う考え方を聞いて学びになった」「地域の人の思いを知れた」と話していました。



満百歳を迎えた勝原道恵さん



さまざまなテーマで会話をし、
交流を深めた参加者

中学生・地域・大学生が 八頭中で語り合う 「CHA³プログラム」初開催

少人数のグループで価値観や思いを共有する交流型教育プログラム「CHA³(チャチャチャ)プログラム」が、11月15日(土)、八頭中学校で初めて開催され、2年生と地域住民、大学生ら約200人が参加しました。

当日は5~6人の小グループに分かれ「大切にしているもの・言葉」「住んでいる地域の魅力」など身近なテーマをもとに自由に会話を交わし、交流を深めました。

参加した地域の方からは「中学生と話す機会が新鮮だった」「多様な考え方触れられた」との声が聞かれ、中学生も「違う考え方を聞いて学びになった」「地域の人の思いを知れた」と話していました。

まちの話題



お米を寄贈する小林組合長(左)とそれを受けた前田代表(右)

地元産のお米を子ども食堂へ 日田農業生産組合が「はつちゃん」に30キロ寄贈

地域で収穫した農作物を地域の人々に味わってもらいたいという思いから、平成24年に集落営農組織を立ち上げ、農業を通じた地域づくりにも取り組む農事組合法人日田農業生産組合が、子ども食堂「はつちゃん」に「きぬむすめ」や「星空舞」などのお米、計30キロを寄贈しました。

同組合の小林正樹組合長は「役員から提案があり、昨年に続いて寄贈しました。子どもたちの食育の一助になればうれしいし、今後も続けていきたい」と話していました。

また「はつちゃん」を運営する前田代表も「地域の力で子どもたちが大きく育っています。感謝して食べたい」と話していました。

秋色の遠見山を満喫 馬鹿木の会と丹比地区公民館が秋登山



頂上で記念撮影をする参加者

遠見山馬鹿木(あせび)の会と丹比地区公民館が春と秋に実施している遠見山登山が、11月16日(日)に行われました。

遠見山はアップダウンのある登り応えと自然林の紅葉が魅力で、この日は、町内外から約40人が参加。秋晴れの下、島コースと茂谷コースの2班に分かれ、標高800.5メートルの頂上を目指しました。

途中、氷ノ山や扇ノ山など県東部の山並みを望める七合目の見晴台では、ガイドの案内を受けながら秋色の景色を楽しみました。

参加者は「思ったよりきつかったが楽しかった」と話していました。



気合いを入れて一本!

教室を率いる森田さんは、昭和52年に始まった前身の郡家警察署少年剣道教室を平成12年に引き継ぎ、クリニック業の傍ら38年間にわたり指導を続けてきました。これまでに県内外で活躍する選手を育て、最近ではO.B.のお子さんが入会するなど、世代を超えて剣道の輪が広がっています。

きゅうりゅう
やまととく

まちで輝く人々や、魅力あふれる場所・ものを紹介するコーナーです。
2カ月に1回掲載します。“知るとちょっと得する”“やさしく、ハッキリとした魅力、あなたもやさしく、しませんか？”



賞状を手にする森田さん(中央)と剣道教室の小学生メンバーたち

郡家剣道教室では、一緒に活動する仲間を随時募集中です。毎週、火・金に練習しています。詳しくは、郡家剣道教室(☎72-0168)までお問い合わせください。

生徒の一人は「試合の動画を見てしてくれました。また、剣道をする子どもが減ってきている中、森田さんは大人の剣道人口も増やそうとSNSなどの魅力発信にも力を入れています。その効果もあり、県内外から鳥取へ出稽古に訪れる剣士も増えているそうです。「大人が楽しむ姿を見せる」と、子どもたちにも「剣道って楽しそう」と思ってもらいたい」と語る森田さん。これからも剣道の魅力を発信しながら、子どもたちへの指導にも力を注いでいきたいと話していました。